

電通と博報堂が共同で立ち上げる、産学連携ラボ 『MIRAI DESIGN LAB.』 設立のお知らせ

第1弾の活動として、大学生・大学院生と共に“2030年の社会”を考える
「MIRAI DESIGN AWARD 2030」、10月1日より募集開始

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：高嶋達佳）と株式会社博報堂（本社：東京都港区、社長：戸田裕一）は、九州大学大学院 芸術工学研究院による協力の下、全国の大学生・大学院生と共に未来の社会を構想し、コミュニケーションアイデアを発信するための『MIRAI DESIGN LAB.』を産学連携で発足、2010年9月24日より活動を開始します。

社会環境の変化がかつてないスピードで進む中、将来課題の解決に向けて、コミュニケーションが持つ可能性と果たすべき役割は、ますます大きなものになっています。電通と博報堂は、コミュニケーション・カンパニーの責務として、「そのアイデアが、未来を創る。日本を変える。」をフィロソフィーとする『MIRAI DESIGN LAB.』の設立へと至りました。このラボは、産学連携の領域で両社がタッグを組む、初の試みでもあります。

ラボが担う役割は、①未来の社会課題を解決するためのアイデアを具現化し、発信すること。②学生の教育・研究をサポートすることで、未来を主体的にリードしていく、構想力を持った人材の育成と輩出を目指すこと。さらには、③生活者、有識者、企業、教育機関など、あらゆるステークホルダー間のハブとなり触発を促すことで、従来個別に行われていた研究やアイデア開発を有機的に繋ぎ、コーディネートしていくことも視野に入れています。

ラボ活動の第1弾として、全国の大学生・大学院生を対象とした「MIRAI DESIGN AWARD 2030」の募集を、10月1日より開始します。“2030年の社会”を想定したアイデアを募り、受賞者はラボの研究メンバーとして、アイデアの具現化・事業化を目指したワークショップに参加していただきます。なお、ラボでの研究を経て練られたアイデアの発表は、2011年7月頃を予定しています。

■ 報道関係者からのお問い合わせ先

電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部 市川・林田 TEL 03-6216-8041
博報堂 広報室 西尾・藤井 TEL 03-6441-6161

■ 一般の方からのお問い合わせ先

MIRAI DESIGN LAB. 事務局（平日 10:00~18:00 土日祝除く） TEL 03-3545-8408

■ 『MIRAI DESIGN LAB.』 基本趣意

そのアイデアが、未来を創る。日本を変える。

情報があふれる社会から、つなぐコミュニケーション社会へ。

2010年9月。

コミュニケーションの力と可能性で未来を創る、アイデア開発ラボが発足します。

思いを集うのは、未来の力と直接向き合う大学、

そしてコミュニケーションのプロである電通と博報堂。

コミュニケーションとは、個人と個人、人と社会、人と可能性、

人と未来をつなぐ形のこと。

あるときは言葉、空間、環境、経済、文化、技術、システム、そして心。

集うのは、未来を視る人、構想する人、価値を創る人、

それを伝えようとする人と志です。

今の私たちの想像や期待をはるかに越える、力強い未来をめざして。

まずは20年後の未来を、拓いていきます。

主催： 株式会社電通、株式会社博報堂

所在地： 東京ミッドタウン・デザインハブ 九州大学・芸術工学東京サイト内
東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F

URL： www.miraidesign-lab.com

問合せ： 03-3545-8408 (MIRAI DESIGN LAB. 事務局)

発起人： 池永 忠裕 (株式会社電通 プロモーション事業局 プロモーション・デザイン室長)
永井 一史 (株式会社 HAKUHODO DESIGN 代表取締役社長)

協力： 清須美 匡洋 (国立大学法人九州大学大学院 芸術工学研究院 教授)

MIRAI DESIGN LAB.

DENTSU + HAKUHODO

■ 『MIRAI DESIGN LAB.』 当面の活動計画

第 1 弾： MIRAI DESIGN AWARD 2030

MIRAI DESIGN LAB. (MDL.) の発足を機に、「MIRAI DESIGN AWARD 2030」を開催します。20 年後、2030 年の社会を想定したアイデアを大学生・大学院生から募り、MDL.にて選考。受賞者は、ラボの研究メンバーとして活動していただきます。

活動の一環として、アイデアに知見や刺激を与える有識者とのワークショップや、アイデアを社会に活かす(具現化・事業化)ためのアクティビティを計画しています。

【募集要項】 →詳細は MDL.公式ホームページをご確認ください。

2030 年の社会を想定した ISSUE 例(※次ページ参考欄に記載)を参考に、その時代を良くする、新しいコミュニケーションアイデアを構想してください。発想から実現へのプロセスまで含めてひとつのアイデアとします。

- 応募資格:** 日本の大学・大学院に在籍する、個人あるいは3名以内のグループ(2011 年 4 月時点にも在籍していることが条件)
- 応募方法:** MDL.公式ホームページ(www.miraidesign-lab.com)から応募申込書をダウンロードの上、必要事項を記入してください。また、企画趣旨・企画内容等を 1 枚の CD-R もしくは DVD-R に保存して、指定の送付先まで郵送してください。
- 送付先:** MIRAI DESIGN LAB. 事務局
〒104-0045 東京都中央区築地 1-7-13 2F
- 応募期間:** 2010 年 10 月 1 日(金)～2010 年 12 月 23 日(木)消印有効
- 審査発表:** 2011 年 2 月下旬を予定(決定次第、MDL.公式ホームページ上にて発表します。)
- 選考基準:** 「構想力」「アイデアの新しさ」「実現性」および「提案の根拠」
- 審査員:** MIRAI DESIGN LAB.メンバー
本 AWARD にご協力いただき、全国の大学・大学院の教授や有識者
- 受賞内容:** 受賞グループは、5つ程度を予定しています。

受賞者には、MIRAI DESIGN LAB.のメンバーとして、3 月以降に開催されるワークショップへの参画機会と、1グループあたり 10 万円の研究助成金を提供します。
- お問合せ:** info@miraidesign-lab.com までお問い合わせ下さい。
(併せて MDL.公式ホームページ上の Q&A もご参照下さい。)

第 2 弾： MIRAI DESIGN Workshop

「MIRAI DESIGN AWARD 2030」の受賞者を対象に、採用されたアイデアに新たな知見や刺激を与える有識者とのワークショップに参加していただきます。また、電通・博報堂の社員とのセッション、他分野を研究する学生との交流を通じて、アイデアの向上・実現化を目指します。

なお、2011 年 6～7 月頃に活動報告と作品発表の場を設ける予定です。

スケジュール (予定)

2010 年 09 月 24 日	MIRAI DESIGN LAB.	設立	
2010 年 10 月 01 日	>>MIRAI DESIGN AWARD 2030		募集開始
2010 年 12 月 23 日		応募締切	
2011 年 02 月 下旬		審査発表	
2011 年 02 月	MIRAI DESIGN LAB.	受賞した学生を交え、研究スタート	
2011 年 03 月	>>MIRAI DESIGN Workshop I		開催
2011 年 05 月	>>MIRAI DESIGN Workshop II		開催
2011 年 06 月	MIRAI DESIGN LAB.	活動報告	
2011 年 07 月	MIRAI DESIGN LAB.	アイデアの発表	

参考：2030 年の社会を想定した ISSUE 例

■働き方や、労働に対する価値観

(日本の GDP ランキングの低下、ワークライフバランスの進展、国内労働力の減少、国際分業)

■人口構成

(少子高齢化、高齢者の就労、介護ロボットなどの介護インフラの進展、高齢者コミュニティの誕生)

■都市と地域

(地域主権、スモールタウンなど街の在り方、地下都市の開発、地域インフラの変化、生活住環境の変化)

■医療技術

(再生医療、テーラーメイド医療、医療保険の仕組み変化、移植手術、ドナー、死と倫理観)

■環境技術の進展、環境への意識

(石油代替エネルギー、排出権取引、ゼロエミッション、スマートグリッド、気候変動)

■資源価値

(水・食糧を始めとする資源、自給率、第一次産業の変化、人口爆発、日本のビジネス構造の変化)

■国際パワーバランス

(持つ国、持たざる国の変化、メガ国家、経済圏の変化、人種・国籍の変化、通貨、日本の競争力)

■日本文化とアイデンティティ

(日本文化の発信、観光、移民、国民性、出版作品、サブカルチャー)

■教育

(教育のグローバル競争力、学校教育制度、企業と大学、幼児教育制度)

■情報社会

(位置情報、行動データ、情報デバイス、ソーシャルメディア、監視社会と個人情報、バイタル情報)